

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界情勢は、ウクライナ問題は膠着状態が続く、中東情勢はイスラエルの攻撃範囲が拡大し、緊張が高まりました。経済面では米国経済は好調な個人消費を背景に堅調な一方で、中国経済は長引く不動産不況により低迷しております。そうした中、米国では十一月の大統領選挙の結果、トランプ前大統領が再登板することになりました。米国の通商・外交政策が大きく転換され、米中対立の更なる激化等が予想されますが、混乱ではなく安定した世界秩序がもたらされることを願ってやみ



発行 大阪倉庫協会
大阪 市 中央区 今橋
2丁目3番21号(今橋藤浪ビル)
編集 発行人 筑紫敬司
<https://www.soukoweb.jp/>

ません。

国内では、トラック運転手の時間外労働時間の上限規制が四月に適用され、いわゆる物流の二〇二四年問題が現実となり、九ヶ月が経過しております。現在まで、荷主・倉庫事業者、運送事業者等、関係事業者の取組みに加え、荷動きが低調なことから、大きな問題は生じていないようであります。国においては、令和五年にとりまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」に基づき、「商慣行の見直し」、「物流の効率化」、「荷主・消費者の行動変容」の三本柱について具体的施策を推進しており、昨年五月には、すべての事業者が規制措置を課す改正物流効率化法が公布され、本年以降、段階的に施行されることとなっております。

す。物流がこれまでになく注目された一年でありましたが、私も倉庫業の果たしている役割に対する認知度はまだまだ低いのではないかと思います。物流革新の中で埋没しないよう、引き続き日倉協とも連携して情報発信をしていくことが肝要と思います。

本年につきましては、世界経済は、トランプ次期大統領の関税引上げ等、保護主義的な政策が実施されることによる不透明感がございますが、わが国においては大阪・関西万博がいよいよ四月から開催されます。国内外から多くの方が来場されると思いますが、関西圏のみならず、日本経済全体が活性化することを期待したいと思います。

それでは年頭に当たって、本年の所感を述べさせていただきます。

一点目は、改正物流法への適切な対応です。改正物流法は段階的に施行されることとなっており、第一段階として、本年四月からすべての事業者を対象として荷待ち・荷役時間の短縮等のための努力義務が課せられる予定となっております。荷待ち・荷役時間の短縮等は、私も倉庫事業者だけで解決できるものではないと思いますので、荷主・運送事業者との協力、連携が不可欠です。二〇二四年問題の契機となっている時間外労働時間の制限、人材不足は運送事業者に限ったことではなく、私も倉庫事業者を含め産業界共通の課題であります。国民生活・経済を支える物流を止めないためには、関係事業者が一致団結して継続して取り組んでいくことが必要と考えます。

二点目は、防災への取り組みの強化で

す。昨年八月に発出されました南海トラフ臨時情報ですが、臨時情報は終了しましたが、大規模地震そのものの発生リスクがなくなったわけではございません。倉庫事業者としては、大規模災害が発生した際には、従業員の安

全、貨物・施設の保全を図り事業を継続させることにより国民生活・経済を支えることはもちろん、地域住民の一時避難場所や緊急支援物資の拠点としても貢献することが期待されております。協会としましては、会員事業



北海道 双翔 冬 松本 邦雄 氏 撮影

者の事業継続計画(BCP)の策定をご支援するとともに、行政との連携を更に強化して参ります。

三点目は、人材の確保・育成です。二〇二四年の出生者数は七十万人を割ることが予想されており、この約二十年で少子化が急激に進行しております。これから新卒が年々減っていくことになり、人材の獲得競争は一段と厳しくなっています。賃金等の雇用条件が業界によって大きな差がある中で私ども倉庫業界が人材を確保していくためには、倉庫業の社会的使命、倉庫業界で働くことの意義・やりがい等、業界の魅力を訴え、認知度を上げていくことが不可欠です。ひとりでも多くの方に倉庫業界に関心を持って戴けるよう日倉協とも連携して取り組んで参ります。

また、労働力人口の減少を見据え、現場・事務作業の省力化・省人化を進め、更には物流DX、AIを活用した機械化、自動化への取組みが課題と存じます。協会としては、こうした課題にマッチした研修会を開催し、引き続き会員事業者の人材育成をサポートして参ります。

本年も会員事業者の皆様のお役に立てるよう、また業界の発展のため、協会活動を推進して参りますので、皆様方にはご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、近畿運輸局ご当局はじめ関係諸官庁、諸団体の皆様の一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとりまして本年がより良い年となりますよう祈念申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

令和七年 新年のご挨拶

国土交通省 近畿運輸局長

岩城 宏幸



新年、あけましておめでとうございます。令和七年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、ようやく観光需要が復調し、訪日客数が三千万人を超えるなど、関西においても観光を中心に人流が活性化してきました。

そしていよいよ、本年四月には大阪・関西万博が開幕いたします。万博の開催に伴い、本年はより一層の観光客の増加が期待されております。関西経済のさらなる発展のためには、交通・観光産業の活性化が必要不可欠です。当局としましては、万博を最大の好機と捉え、様々なプロジェクトを進めております。本年も引き続き、関係機関と緊密に連携しつつ、総合的な支援を講じてまいります。

一方で、交通・観光をはじめ多くの業界において人手不足の問題が顕著化し、昨年は所謂「物流の二〇二四年問題」として報道でも頻繁に取り上げられてきました。加えて、昨今の円安や物価上昇、世界情勢等により、原材料・燃料価格は高止まりの状況にあります。本稿をご覧の皆様の中には、このような厳しい経営環境下においても物流網や地域の公共交通の維持に、日々ご尽力いただいていることと存じます。このように困難な状況下ではありますが、政府による支援等も最大限にご活用いただき、着実に対応を進めていただきたいと存じます。

さて、物流分野においては、国民生活や産業競争力を支える重要な社会インフラですが、労働力不足や、EC市場の急成長による宅配便の需要増、原油価格高騰に加え、トラックドライバーの時間外労働の上限規制等が適用されたことにより、物流の停滞が懸念されるいわゆる「物流の二〇二四年問題」に直面しています。

昨年、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」「貨物自動車運送事業法」が改正されました。前者では、荷主・物流事業者に対して物流効率化のために取り組むべき規制措置を講じており、後者では、元請け事業者に対して、下請けの取引に関して実運送体制管理簿の作成を講じるとともに、荷主とトラック事業者の双方に対して、運送契約の書面交付の義務付けなどの規制措置を講じることで物流の持続的成長を図ってまいります。

また、適正な取引を阻害する疑いのある荷主企業等への監視体制を強化するため、令和五年七月に国土交通省に設置した「トラックGメン」は、物流産業全体の健全化に向けて昨年十一月に「トラック・物流Gメン」と改組し、トラック事業者に加え倉庫事業者からも情報収集を行い、荷主側の都合による長時間の荷待ちや契約にない附帯業務を行わせる等の違反原因行為の疑いについて、荷主企業等に対し「働きかけ」や「要請」等を行うことにより、引き続き、荷主企業と物流事業者との間に存在する非効率な商慣行の見直しに取り組んでまいります。

これらの取組みについては、関係省庁と連携して進め、モーダルシフトの推進のほか、特定流通業務施設の整備による輸送網の集約、トラック予約システムをはじめとしたデジタル機器等

各委員会・委員長 新年のご挨拶

広報委員会

委員長 土井 正博

(株式会社リクサス会長)



新年明けましておめでとうございます。平素は当委員会の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。長期間にわたり広報委員長を務めてこられた故西尾委員長の後を引き継ぎ

の導入や共同輸配送などの物流の効率化にも取り組み、日常生活や経済活動に必要な不可欠な社会インフラである物流が滞ることのないよう努めてまいります。

以上、新しい年を迎え、所信を申し上げます。

関西経済の活性化を図るため、本年も全力を挙げて各種施策を推進し、交通・観光行政を通じて、皆様の豊かで快適な生活の実現に貢献してまいります。

本年も引き続き、近畿運輸局の行政に対し、皆様方からのご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

今年度より委員長を拝命致しております。どうかよろしくお願い致します。

昨年は気象庁が記録を取り始めた一八八六年以降記録的な酷暑となり、多方面に様々な影響を与えた一年でした。地球の温暖化はさらに進み今年四月から始まる大阪関西万博にも暑さ対策がとられている様ですが、世界中から来る来場者が快適に楽しめる場であるようにと願っています。

昨年の出来事として特筆すべきは日本の政権交代であろうかと思えます。トランプ政権が今年本格的にスタートし日本への影響も多岐にわたる可能性があります。関税の引き上げ等我々物流業者にも少なからず影響があると思われますが、石破内閣の手腕を期待したい

ものです。

物流業界におきましては、昨年四月より「物流の二〇二四年問題」がいよいよ実施され、その結果運転手不足がおりき労働条件の改善が求められています。個々の企業にとって賃上げ出来る体力も必要ですが、若年労働者を確保する為には物流業界のイメージ改善や働きやすい環境整備等、業界全体での協力が必要ではないかと思ひます。

当委員会は機関紙「蒼光」を通じて各種委員会の活動内容、行政の施策、各種講演会や研修会の内容等を記事にしています。今年におきましても時流にのつとつた紙面の構成につとめてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様には引き続きご支援とご協力を賜ります様よろしくお願ひします。

本年が会員の皆様にとりまして良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

総務委員会

委員長 岩本 保治
(エスケーロジ株式会社社長)



新年あけましておめでとうございませう。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は当委員会の活動

に多大なるご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナの終息に伴い、社会経済活動が活発化するとともに、インバウンド需要の回復や賃金の上昇による消費の拡大が期待される一方で、物価高による購買意欲の伸び悩みや自動車産業の生産減少、震災などの影響もあり、景気は依然として踊り場にあると思ひます。また、長期化するウクライナや中東問題、円安に長らく振れる為替相場、中国経済の減速、日米の政局不安など先行き不透明な状況が続いております。

倉庫業界におきましては、慢性的な人手不足や従業員の高齢化が顕著であり、隣接するトラック運送業界を含め、DXの活用推進が喫緊の課題かと考えます。

このような状況の下、当委員会では昨年四月から九月までの本年度上期において、通常総会をはじめとして、講演会二回(参加者七十七名)、セミナー一回(同四十三名)、研修会六回(同二百五十七名)、講習会一回(同三百一十三名)を予定通り開催し、多くの方々にご参加いただきました。なお、大阪倉庫協会の会員数は、本年度上期末時点において百九十七社で昨年度上期末時点より残念ながら四社減となっており、当委員会と致しましては大阪倉庫協会の更なる発展のため引き続き会員の増強に取り組みたいと考えておりますので、本年も会員の皆様のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員の皆様にとりまして良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

物流対策・研修委員会

委員長 黒木 郁雄
(株式会社住友倉庫
取締役常務執行役員)



新年明けましておめでとうございませう。平素は当委員会の活動にご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年の活動を振り返りますと、三月には、メンタルプロデューサーの川谷潤太氏に「潜在脳力を高めれば職場が変わる」と題した講演をいただきました。人間の脳は心が向いている情報だけを認知するため、意識の向きがポイントになる」ということで、意識を「未来」に向ければ、目の前の逆境や苦難を楽しめるようになるということでした。そして、九月には、日本一明るい経済新聞社の竹原信夫氏から「元氣経営のヒミツ」と題した講演をいただきました。東大阪の元氣な中小企業による取組みが紹介されました。最後に十一月には、物流対策委員会と研修委員会の合同研修会を開催し、TOPPAN株式会社にDXの様々な事例を学習しました。包装紙や外装箱印刷を業としていた旧凸版印刷社が、SDGsの波を捉え、包装資材加工という中核事業を中心に据えつつ、それを発展させ、賞味期限の延長やプラスチックゴミという社会問題を解決する環境配慮型パッケージを開発・普及させるなど、決して派手ではないものの3年連続DX銘柄に輝いた企業の発想力と実力を目の当たりにしました。

最近ではAIの記事を見ない日はありません。AIの活用が社業発展の条件の一つになるのではないかとと思ひます。本年も協会ならびに会員の皆様のご助言を仰ぎながら社業発展のために役立てられるような委員会活動を行ってまいりたいと思ひますので、引き続きのご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。それでは、皆様の本年のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

業務委員会

委員長 福山 漢成
(株式会社杉村倉庫 副社長)



新年、明けましておめでとうございませう。平素は当委員会の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年(元日)からは日本航空の飛行機が海上保安庁の飛行機と衝突する等、波乱の幕開けとなりました。しかし、昨年を通して振り返ると、日本経済は、長く続いたデフレがようやく出口にたどり着き、金融政策は正常化に向けて動き出し、日経平均株価も年間で約六千円

上昇しました。社会面の話題では、藤井聡太氏の八冠、大谷翔平氏と山本由伸氏の大活躍によるドジャースの優勝、パリ五輪での北口榛花氏を筆頭とする日本選手団の大活躍等、明るい話題も沢山ありました。

物流業界では二〇二四年問題と少子高齢化による人手不足、積載効率の悪化や長い荷待ち時間、再配達増加、輸送の小口化と多頻度化、大量のCO2排出量、自然災害対応、インフラの老朽化等、課題が山積している状況です。これらの課題への対応として、中継輸送、モーダルシフト、共同配送、自動化技術DXの推進、暑さ対策を含む労働条件の改善等に向けて、業務委員会は積極的に議論し、推進に鋭意取り組んでいるところであります。

今年の干支と十干は乙巳(きのこ)み。乙巳は十干では第二位であり、困難があつても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木を表しています。巳は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。この二つの組み合わせである乙巳には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表していると言えそうです。本年も、年末には「良い年だった」と皆で言い合えることを祈念する次第です。



中小企業委員会

委員長 山中 恵司

(ダイシン物流株式会社代表取締役)



新年明けましておめでとうございます。平素は当委員会の活動に対し格別のご理解・ご支援を賜り誠に有難うございます。厚く御礼を申し上げます。

昨年は世界が注目するニュースが幾つもありました。そのなかで、米大統領選はトランプ氏の勝利で決着しましたが、一番に期待される政策は「経済」とのことでした。

米国経済の繁栄は、IT企業の成長に牽引されています。巨額な開発費が注がれ、新技術が生みだす莫大な富は特定者への集中が進んでいます。一方、アメリカ社会に影を落とす格差問題、高インフレによる物価高騰、特に住宅は富裕層にしか手が届かないものとなりました。貧富の格差はストレータとなり諸問題の根源に潜在し、将来不安に煽られてトランプ氏支持へと民意が動いたようです。新政権の誕生を受けて、我が国も貿易や安全保障ほか、新たな国際関係の模索が課題となる年になります。

明るいニュースとして、スポーツ分野ではドジャース大谷選手の快挙達成が印象的でした。前人未踏の50:50、そして念願のワールドシリーズを制し

ました。シーズン後半は個人の記録だけでなく、チーム全体の士気高揚にも努め、ロバーツ監督を支えたといいます。地元ファンはもちろん日本のファンも、たくさんさんの感動と勇気をもたらしました。

我が国では物流二〇二四年問題が到来、その後一年が経過し、社会的な関心が薄れてくると懸念します。しかし物流の現場・現実は今も刻々と変化しています。各々が最適化と効率化を進め、持続可能な物流を目指すにあたりまして、皆様のご指導とご鞭撻を引き続きお願いいたく存じます。

トランクルーム委員会

委員長 山口 義弘

(三菱倉庫株式会社大阪支店長)



謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は当委員会の活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は元旦の能登半島地震に始まり、八月八日の日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震による南海トラフ地震臨時情報の発令、八月二八日から九月一日にかけて列島を横断した台風十号、九月二四日の能登での大雨など災害に翻弄された一年となりました。大きな災害が発生するたびに社会の基盤を支えるインフラである物流業者と

して気が引き締まる思いですが、まずは皆様と無事に新しい年を向かえることができました。この何より嬉しく存じます。

さて、世界情勢に目を向けると、昨年は第二次トランプ政権発足による貿易紛争の広がり、懸念、ウクライナ・中東の地政学リスクの更なる高まり、中国の内需低迷からの景気減速といった不確実な情勢が続いています。

我が国の経済は、個人消費は一部に足踏みが残るものの、インバウンド需要の拡大、デジタル化・脱炭素・サブライチエーション強靱化に向けた取り組みや人手不足対応などを背景とした設備投資による持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しました。

一方、物流業界ではトラックドライバーの労働時間規制、人手不足、デジタル化への対応等々取り組むべき多くの課題がある中、昨年のトランクルーム委員会活動では、国政府によるデジタル化推進の一環とした法改正ならびに約款等のホームページ掲載の義務化に関連し、トランクルーム事業における「料金や寄託約款、認定証等」重要事項の掲載義務化にしっかりと対応していくことを周知・共有いたしました。

このように様々な課題が山積する情勢下ではありますが、ここ大阪での万博開催がいよいよ四月十三日と目前に迫って参りました。日本中、世界中に明るいニュースを届けられるよう我々倉庫物流会社全体で引き続き協力して参りましょう。

最後になりましたが、本年が会員の皆様にとりましてより良い年となりますよう祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



としおとこ

としおんな

川西倉庫株式会社
大阪支店 築港物流センター営業所

大塚 晴哉



新年あけましておめでとうございます。私は平成十三年生まれ、今年で二十四歳になる年男です。昨年の今頃はまだ学生で、社会人になることに楽しみと不安を抱きながら過ごしておりました。四月には早いもので一年が経過し、社会人二年目を迎えます。

入社してからは、右も左も分からないまま、指示された通りに動き、覚えることで精一杯でした。今では、私一人である程度の業務をこなせるようになり、業務一つ一つの意味を理解しながら、常に改善・効率化を図り、やりがいや責任感を感じて仕事に取り組むことができています。これも私に指導してくださる職場の皆さん、先輩方のお陰です。心より感謝申し上げます。

昨年は振り返りますと、自分のことを改めて理解できた一年だったと思います。仕事を覚えていく中で、多様な業務を経験してきましたが、その中で時間がかかる業務と、すぐにこなせる業務があることに気がつきました。

もちろん人それぞれ得意、不得意あるのは当たり前です。ですが、それを理解しているかどうかで、これほどにも業務の進め方に変化が出るとは正直思いませんでした。まだまだ自分でも気づけていないことがあると思いますので、引き続き自分と向き合っていく所存です。

今年社会人二年目を迎えるにあたり、私には一つ目標があります。それは、広い視野と余裕をもって、先輩方を手助けできるようにすることです。二年目は、目の前の業務だけで必死になってしまい、先輩方にはいつも助けてもらってばかりでした。二年目には自分の業務はもちろんのこと、先輩方がお忙しいときに少しでも手助けできるような努力・改善していきたいと思っています。末筆ではございますが、今年も皆様にとつて健康で素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

滋澤倉庫株式会社
大阪支店 茨木営業所

勝山 光星



新年あけましておめでとうございます。私は平成十三年生まれの巳年で、今年で二十四歳になります。ついこの間まで学生だった私が早いもので、社会人三年目になります。入社した当初は配車部門に配属され配車が何か全くわからない状態からのスタートでした。まずは配車で一番重要とされる電話を取ることを目標に必死に食らいつく毎日でしたが、一年目の夏に周りの方から声色が暗いなどの指摘をいただき、かなりへこむこともありましたが、しかし、その指摘のおかげで電話越しでの自らの印象について深く考えるようになり、現在では色々な人から以前と比べて明るく話しやすくなったと言われるようになりました。厳しい指摘ではあったものの、今のコミュニケーションの土台になっていることを考えると感謝の気持ちでいっぱいです。

社会人三年目を迎える今年はいよいよ新しい協力会社を構築することを目標に頑張りたいと考えています。今までは先輩から教えていただいた既存業者とのやり取りが主であり、それ以外の業者に電話をかけることはあまりありませんでした。しかし、二〇二四年問題の影響もあって、長距離を走るドライバーが少なくなってきたり、従来の業者を使用するだけでは今後ますます配車するのが厳しくなるのは確実です。そんな中、去年の秋から配車エリアが西方面から東方面に変更になり、使用する業者が一新され、西方面でやり取りしていた業者と関わるのが少なくなりました。西方面で培った関係を無駄にせず、今までやり取りがなかった業者に積極的に声をかけ、先輩とはまた違う自分らしい配車組みが今後でき

ればと思っています。

最後になりますが、今年一年が皆様にとつて素晴らしい一年となりますよう心から申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



株式会社杉村倉庫

大阪港営業所

山本 萌朱



新年あけましておめでとうございます。私は平成十三年生まれの巳年で、今年で二十四歳を迎えます。また、今年四月には社会人二年目を迎えることになります。入社してからの一年間はあっという間で、月日の流れる速さを改めて実感しております。一年前の今頃は、入社が決まったばかりで、同期の顔も知らず、社会人生活に対して漠然とした期待と不安を抱いていたことを思い出します。

入社当初は、業務を覚えることに精一杯で、右も左も分からない状態でしたが、先輩方から一から丁寧に指導いただき、少しずつではありますが、業務の流れを理解できるようになりました。ミスすることも多々ありましたが、その都度、先輩方に「こうすればよかった」などとアドバイスをフィードバックをいただくこともあったので、無事に乗り越えることができました。そんな日々を通して、自分の中に成長の実感と少しの自信が芽生えてきたように思います。

社会人一年目を通して、特に印象を受けたことは、「人々の支えあつての仕事である」ということです。今までは支えられてばかりでしたが、二年目を迎える今年は、新たに先輩が入社するため、自身が支える立場になります。

今年は、業務に取り組む際にも、自分自身が主体的に進められるように努めること、そして、それにより先輩や周囲の方々に支え、良い影響を与えられるような存在を目指すことを心掛けます。さらに、自分の視野を広げるために新たな知識の習得にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

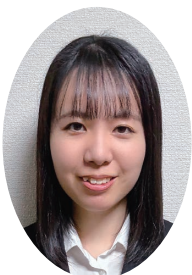
最後になりますが、今年が皆様にとつて素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



株式会社住友倉庫

大阪支店 南港東営業所

齋藤 花成



新年あけましておめでとうございます。私は平成十三年生まれの巳年で、今年で二十四歳になります。昨年を振り返ると、社会人生活が始まり慣れない事が多く不安と緊張を感じていたこと

を思い出します。そんな中、〇丁の先輩をはじめとした事務所の先輩方に助けて頂いているおかげで、緊張はほぐれ充実した日々を送る事ができています。

営業所に配属された当初は、まず現場作業を行いました。大きな倉庫に圧倒され、目の前の作業を行う事で必死でしたが、今の事務に繋がる事が多く現場理解の必要性を痛感致しました。

現在私はスポーツ用品の配送センターで出庫業務に取り組んでいます。荷主の配送業務に対し、事務所と現場作業員が協力・連携しワンチームで取り組んでいます。この事から一つのミスが多方面へ影響がある事を実感し、一つ一つの業務に丁寧且つスピード感を意識して取り組んでいます。

今年二月から出荷業務効率化のために新マテハン機器が稼働します。マテハン機器の導入により、既存業務を基礎として新たな出荷作業方法が始まります。私はこれまで与えられた仕事を遂行することで必死でしたが、今後は今まで得た知識を定着させ、新たな知識を吸収し成長していきたいと考えています。また荷主や運送業者への対応について、先輩方に教えて頂きながら行なっていますが、今後は自身で考えて臨機応変な対応を心がける事を目標とします。

二年目を迎えるにあたり、先輩方のように事務所内だけでなく現場の方々や荷主など多方面の方と信頼関係を築き上げ、一つでも多く力になれるよう精進して参ります。末筆ではございますが、本年が皆様にとつて良き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

東洋埠頭株式会社
大阪支店 営業課
柴田 亮太



新年あけましておめでとうございます。私は平成十三年生まれの巳年生まれで、今年で二十四歳になります。ほんの数ヶ月前まで学生生活を送っていましたが、社会人となり、少しずつ一社会人として自分が成長できているのではないかと感じます。家族、友人、知人にも支えられ、ここまでやってこれたことができました。自分自身を支えてくれた方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。会社に入ってから、本当に皆様に助けられ、今の私があると感じています。

社会人になってからは学生の時と大きく異なり、社会のなかで働く一員としてビジネスマナーや礼儀作法など、多くのことを勉強する機会を得て、その毎日は新鮮なものでした。幅広い年代の方、様々な職種の方と日々接し、なんとか仕事をうまくこなしていこうとする日々の中で、自分の世界というものがある学生時代より、大きく広がったと感じます。量は、学生時代にこなしてきた勉強量、課題の量に比べるとかなり多く、その処理方法、対応方法を覚えていくのは大変ですが、より正確に、より効率的にこなす方法はないかという



ことを考えながら、日々業務に取り組んでいます。そうすることで、だんだんと一つ一つの業務をうまくこなすコツがわかってきて、業務に取り組みやすくなったように感じます。これから今まで経験したことのない業務に取り組む際は、しっかりとそうしたコツというものを見極め、取り組んでいこうと思います。

新年の目標は、自分の業務を上手くこなしつつ、新たに入社してくる後輩を引っ張っていくことのできる先輩になることだと考えています。今までは職場のなかでは私が一番後輩なので、先輩方に教わり、付いていくだけでした。後輩が入社し、私が先輩になったときには、これまで先輩方が私にしてくてくださったように、自分自身の業務をしっかりとこなしながら、後輩に対しても余裕をもって業務を教え、引っ張っていけるような先輩になりたいと思います。すぐに先輩方のようになるというのはむずかしいですが、少しずつ自分なりにそのような頼れる先輩になりたいです。

最後になりましたが、今年が皆様にとって素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

大阪倉庫協会 役員の異動

理事交代

◆日本運輸倉庫株式会社 関西支店
(前)関西支店長 夜光 学夫
(新)関西支店長 奥本 元
(令和六年十二月)

社員研修会開催

新社員のための 物流入門講座

令和六年十月二十三日(水)
於 協会会議室

大阪倉庫協会研修委員会は、十月研修会として、(一)社日本倉庫協会との共催により、新社員が物流を基礎から学べる「新社員のための物流入門講座」を開催した。

ここでは、物流の各輸送モードの特徴を学んだうえ、物流の要である倉庫・物流センターの重要な役割の認識に結び付けていくこと、その習得を目的として開催することにした。

参加者は三十六名。トラックなど各種輸送が分かりやすく説明され、物流全体の内容について理解できたという好評であった。

研修プログラムは以下の通り

- 一・物流って何だろう
- 二・まずはトラックのことを知ろう
- 三・身近を走る鉄道輸送
- 四・ケタ違いの海上輸送
- 五・花形の航空輸送

六・物流の要、物流センター
七・ロジスティクスとは何か

講師

山田経営コンサルティング事務所
代表 山田健氏



倉庫法令実務専門研修

令和六年十一月二十五日(月)
於 協会会議室

大阪倉庫協会研修委員会は、十一月研修会として、中堅クラス社員を対象とした「倉庫法令実務専門研修」を開催した。

この研修会では、倉庫寄託約款の解説と約款に関するトラブル事例と解決方法を中心とする倉庫管理の実務を学ぶとともに、寄託契約書や覚書の雛形を活用してその作成方法などを学んでいくことを目的としている。

倉庫寄託約款の解説と約款に関するトラブル事例と解決方法を中心とする倉庫管理の実務を学ぶとともに、寄託契約書や覚書の雛形を活用して、その作成方法などを学んでいただきたい。

参加者は四十三名、研修終了後受講証が手渡された。

講義内容は次のとおり。

一・倉庫寄託約款の解説(重要部分)

- ・約款の役割
- ・保険、損害賠償
- ・時効、免責
- 二・トラブル事例の解説
- ・誤渡し、火災事故
- ・在庫証明書の事件
- ・米の変質(かび発生)
- ・過去の係争事件となったトラブル
- 三・寄託契約締結のポイント
- ・契約締結時における留意点
- 四・理解度テスト、質疑・応答等

情報化月間協賛講演会開催

国土交通省では、広く国民に現在の情報化に関する理解を深めていくため、関係府省(経済産業省、内閣府、総務省、財務省、文部科学省)と連携し、「情報化月間」の十月を中心に、情報化促進のための各種行事を毎年実施している。

日本倉庫協会DX促進・情報セキュリティ委員会、近畿倉庫協会連合会、兵庫県倉庫協会では、会員事業者の情報化促進に資するため、十一月八日(金)大阪科学技術センター八階中ホールに於いて、情報化月間協賛講演会を開催した。参加者は四十三名。

講演内容は次の通りである。

第一部

『次世代物流実現のための
倉庫DXステップ』

講師

株式会社YEデジタル
マーケティング本部 事業推進部
梅林 稔氏

講師

(株)NX総合研究所
コンサルタント 田代 信行氏



第二部

『情報セキュリティ十大脅威とその対策』

講師

独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター
対処調査部 脆弱性対策グループ
主幹 篠塚耕一氏



新入会員紹介

千里運輸株式会社

【所在地】 〒566-0035
大阪府摂津市鶴野3-6-11
【代表者】 代表取締役 川西 通公
【資本金】 1500万円
【電話】 072-638-2301
【FAX】 072-638-2302
【所管面積】 6,894㎡
【主な取扱貨物】 食品包装容器全般、
医薬ボトルや食品容器等のプラスチック製品

昭和40年、個人創業。昭和43年法人設立。平成13年本社及び本社配送センターを摂津市鶴野へ移転。

三拠点のネットワークを駆使し顧客ニーズに合った配送方法をご提案。保管から配送にとどまらず、流通加工も対応可能、トータル提案でコスト削減を目指します。

お客様からご評価いただき創業60年。

更なる事業拡大を目指すため、枠にとらわれない柔軟な姿勢で多方面に対して挑戦し続けています。

(令和6年11月入会)



去る十一月二十七日(水)三木総合防災公園にて、令和六年度関西広域応援訓練が実施された。

訓練の想定は、南海トラフ地震により、和歌山県・徳島県を中心に関西圏域に被害が発生。徳島県の一次物資拠点が一時的に使用不能となり、徳島県は関西広域連合に支援を要請。関西広域連合は要請を受け、〇次物資拠点を三木総合防災公園で開設することを決定し兵庫県と調整の上、〇次物資拠点を開設。開設した〇次物資拠点においては不足する物資等の情報を取りまとめ、支援物資の要請に必要な事項を整理すると共に国のプッシュ型

支援や応援府県市、物資供給協議会民間事業者等からの物資を受領。〇次物資拠点から物資搬出を行う想定で実施された。

訓練では、〇次拠点開設・運営について、物資拠点内の搬入・搬出時の車両ルートの決定と、拠点内の物資レイアウトの検討を図上ワークにて実施。その後、開設・物資搬入および倉庫での搬出実働訓練を行い、民間事業者による安全講習を通じて作業理解を深めた。

実働訓練終了後、各グループで訓練の振り返りを行い、意見を共有した。最後に各グループで示された意見を

ファシリテーターが発表して参加者全員が各グループの意見を共有して、十七時に全ての予定を終了した。



物流ひとくちメモ

「倉庫の神様 高倉神社」

当社を含む多くの倉庫会社が信仰する神社が、三重県伊賀市の北部、滋賀県との県境、天吹山の麓に鎮座されます高倉神社です。

創建は垂仁天皇時代(第十一代天皇 三世紀後半、四世紀前半)とされ、高倉下命(タカラジノミコト)が祀られています。

古事記・日本書紀によりますと、初代天皇 神武天皇とその軍勢が東征中、熊野の神に苦戦していたところ、高倉下命が剣をもたらし勝利するという活躍をされたそうです。その剣は高倉下命が夢で武御雷神(タケミカヅチ)から授かった剣であり、夢から覚めて倉を探すとその剣があったという神話らしいお話です。ちなみにこの剣は佐士布都神といひ(甕布都神とも布都御魂ともいふ)奈良県天理市の石上神宮に祀られています。

その後、高倉下命の七代後の子孫、倭得玉彦命(ヤマトエタマヒコノミコト)が当地に移り住み、祖神として祭祀したこと

がこの神社の起源になります。

高倉下とは「高い倉の主」という意味で、古代では倉は「武器庫」を指したものであり、前述のエピソードからも高倉神社が倉、倉庫の神様としてお祀りされているのも納得できます。

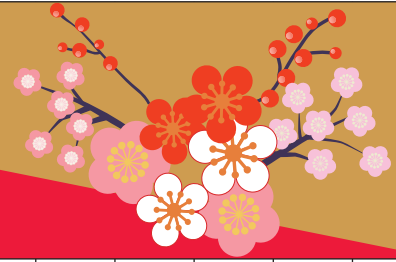
毎年七月十三日には倉暉祭が行われ、全国から倉庫・運輸業に関わる会社の人が集まり、倉庫・運輸業の発展を祈る神事が行われます。

以前、宮司から、当社の創業者であった社長(当時)が大阪の倉庫会社社長と共に「倉庫業の神様として心の拠り所にしたい」との思いで参拝した思い出話をお聞きしたことがありまして、当社では毎年一月に関西地区の管理職全員で新年参拝を行っています。拝殿に向かう石段では厳かな雰囲気があり、境内はどこことなく張りつめた空気が流れています。社殿は美しく、何度訪れても感動します。

〈ケイヒン(株) 岩根 小百合氏 寄稿〉



新年



田 測 倉 庫 会 株 社	会 株 太 陽	大 信 運 輸 倉 庫 会 株 社	会 株 住 友 倉 庫 大 阪 支 店	シ ン ク 会 株 社	山 九 会 株 社 大 阪 支 店	阪 口 倉 庫 会 株 社	興 國 海 運 会 株 社	久 保 物 流 産 業 会 株 社	共 正 陸 運 大 阪 支 店 南 港 営 業 所 会 株 社	関 西 化 成 品 輸 送 会 株 社	カ ド ヤ 会 株 社	大 阪 セ ン コー 運 輸 会 株 社	大 阪 運 輸 会 株 社	梅 田 運 輸 倉 庫 会 株 社	一 宮 運 輸 会 株 社 関 西 支 社 物 流 セ ン ター 大 阪	ア ク ロ ス ト ラ ン ス ポ ー ト 会 株 社
千 島 土 地 会 株 社	太 陽 流 通 セ ン ター 会 株 社	ダイ シン 物 流 会 株 社	セ ン コー 会 株 社	新 洋 海 運 会 株 社	サ ン ト ウ ー ロ ジ ス テ ィ ク ス 会 株 社 南 大 阪 支 店	サ カ タ ウ エ ア ハ ウ ス 会 株 社	会 株 合 通 ロ ジ	グ リ ー ン 物 流 会 株 社	京 町 堀 運 輸 倉 庫 会 株 社	岸 貝 運 輸 会 株 社	カ ネ ミ 倉 庫 会 株 社 大 阪 支 店	大 阪 倉 庫 会 株 社	大 阪 運 輸 倉 庫 会 株 社	エ ス ケー ー ロ ジ 会 株 社	伊 藤 忠 ロ ジ ス テ ィ ク ス 会 株 社 セ ン ター 事 業 本 部	ア サ ヒ コー ポ レ ー シ ョ ン 会 株 社
会 株 中 央 倉 庫 大 阪 支 店	会 株 瀧 定 関 西 商 品 セ ン ター	会 株 大 通	千 里 運 輸 会 株 社	伸 和 倉 庫 会 株 社	三 和 倉 庫 会 株 社 大 阪 支 店	櫻 島 埠 頭 会 株 社	鴻 池 運 輸 会 株 社	ケ イ アイ 会 株 社 大 阪 営 業 所	協 和 海 運 会 株 社	北 之 坊 倉 庫 会 株 社	会 株 上 組 大 阪 支 店	大 塚 倉 庫 会 株 社	大 阪 機 船 会 株 社	N R S 会 株 社 大 阪 物 流 セ ン ター	猪 井 運 輸 会 株 社	会 株 ア ス ト 中 本 あ ゆ み の ロ ジ フ ォ レ ス ト
中 鋼 運 輸 会 株 社 大 阪 営 業 所	会 株 竹 尾 大 阪 支 店	会 株 大 都	会 株 大 運	会 株 杉 村 倉 庫	滋 賀 近 交 運 輸 倉 庫 会 株 社 大 阪 支 店	サ ン ト ウ ー ロ ジ ス テ ィ ク ス サ ー ビ ス 会 株 社	寿 運 輸 倉 庫 会 株 社 大 阪 営 業 所	京 神 倉 庫 会 株 社 高 槻 支 店	旭 菱 倉 庫 会 株 社	木 津 川 倉 庫 会 株 社	川 相 商 事 会 株 社	奥 田 数 会 株 社	大 阪 港 埠 頭 ター ミ ナ ル 会 株 社	N X N P ロ ジ ス テ ィ ク ス 会 株 社	イ ン ター ナ シ ョ ナ ル テ ラ テ リ ス 会 株 社 関 西 支 店	新 井 運 送 会 株 社
塚 本 倉 庫 会 株 社	会 株 辰 巳 商 會	大 同 倉 庫 会 株 社	大 協 通 運 会 株 社	杉 本 倉 庫 会 株 社	澁 澤 倉 庫 会 株 社 大 阪 支 店	会 株 サ チ コー ポ レ ー シ ョ ン	会 株 小 山 倉 庫	ケ イ ヒ ン 会 株 社 関 西 営 業 部	近 畿 製 粉 会 株 社	キ ャ プ ソ ン 会 株 社	川 西 倉 庫 会 株 社 大 阪 支 店	奥 本 製 粉 会 株 社	大 阪 港 木 材 倉 庫 会 株 社	F I D 会 株 社	会 株 イ ン ター ロ ジ サ ー ビ ス	会 株 ア ル プ ス 物 流 大 阪 営 業 所
辻 西 運 輸 倉 庫 会 株 社	谷 川 運 輸 倉 庫 会 株 社	大 日 本 倉 庫 会 株 社	大 翔 ト ラ ン ス ポ ー ト 会 株 社 大 阪 支 店	会 株 住 友 倉 庫	商 船 港 運 会 株 社 物 流 事 業 部	佐 野 倉 庫 会 株 社	金 剛 会 株 社	会 株 ケー ー エ ス ケー ー	ク ト ク 運 輸 倉 庫 会 株 社	会 株 キ ュー ソー 流 通 シ ス テ ム 枚 方 営 業 所	関 空 運 輸 会 株 社	会 株 ガ ス ケ ミ カ ル 物 流 西 日 本	大 阪 梱 包 運 輸 会 株 社	会 株 オー エ ス テ ィ 物 流	上 田 倉 庫 会 株 社	飯 坂 製 粉 会 株 社

																
大阪倉庫協会広報委員会一同	株式会社 リクサス	株式会社 ヤマト運輸 大阪法人営業支店	株式会社 森吉物流倉庫大阪支店	株式会社 三菱倉庫 大阪支店	株式会社 丸山物流	株式会社 マルカミ物流	株式会社 前田産業	株式会社 富士物流 関西支社	株式会社 日和橋倉庫	株式会社 延原倉庫	株式会社 日本塩回送 大阪支店	株式会社 ニットサービス	株式会社 ニシケン流通	株式会社 ナカノ商会 関西支店 大阪支店	株式会社 東洋埠頭青果センター	株式会社 津田物産
	株式会社 ロイヤルコーポレーション	株式会社 山村ロジスティクス	株式会社 安田倉庫 大阪営業所	株式会社 南花田共同倉庫	株式会社 三木運輸倉庫	株式会社 丸全昭和運輸 関西支店	株式会社 間口運輸	株式会社 藤原運輸	株式会社 藤井倉庫	株式会社 放出運輸倉庫	株式会社 日本トランスシテイ 関西支店 大阪支店	株式会社 日本運輸倉庫 関西支店	株式会社 ニシリク	株式会社 中野倉庫運輸 近畿支店	株式会社 東洋紡ロジスティクス	株式会社 テイカ倉庫
	株式会社 ロジテック	株式会社 ユー・エス・エス 大阪会場	株式会社 藪吉倉庫	株式会社 宮瀧運輸	株式会社 瑞穂商事	株式会社 丸長運送	株式会社 マツダ運輸大阪	株式会社 古河運輸	株式会社 藤久運輸倉庫 関西事業部	株式会社 ハリマ共和物産	株式会社 日本物流	株式会社 日本通運 大阪支店	株式会社 日栄倉庫	株式会社 浪速通運	株式会社 東洋メビウス 近畿物流センター	株式会社 帝国倉庫
	株式会社 ロジパルエクスプレス 大阪南港物流センター	株式会社 郵便 全	株式会社 ヤマザキ物流	株式会社 村田倉庫	株式会社 三井倉庫 関西支社	株式会社 丸二倉庫	株式会社 松菱	株式会社 豊興	株式会社 藤阪倉庫運送	株式会社 阪急阪神エクスプレス 西日本ロジスティクス管理課	株式会社 日本ロジックス	株式会社 ニッポンロジ 大阪流通センター	株式会社 日伝	株式会社 NAM	株式会社 鳥居運送	株式会社 寺本運輸倉庫
		株式会社 湯川倉庫	株式会社 ヤマタネ 関西支店	株式会社 明新運輸	株式会社 三井倉庫港運	株式会社 丸福倉庫	株式会社 丸石	株式会社 北摂倉庫	株式会社 富士シンテックホールディングス 大阪事業部	株式会社 阪南倉庫	株式会社 仁和寺倉庫	株式会社 日本紙運輸倉庫 関西支店	株式会社 日新 関西支店 阪神支店	株式会社 南海倉庫	株式会社 トレーディア 大阪営業所	株式会社 東亜物流
		株式会社 米澤運送	株式会社 山忠運輸	株式会社 メロス	株式会社 三井倉庫 ピネアトナール 茨木レコードセンター	株式会社 丸紅ロジスティクス りんくう物流センター	株式会社 丸榮	株式会社 北港運輸	株式会社 藤浪倉庫	株式会社 阪南タンクターミナル 大阪主管支店	株式会社 濃飛倉庫運輸	株式会社 日本興運 大阪支店	株式会社 日清物流 堺タンクセンター	株式会社 南海通運	株式会社 中谷運輸	株式会社 東洋埠頭 大阪支店

私の余技

このたびは、協会機関紙「蒼光」の『私の余技』コーナーに寄稿させていただきます。余技」という漢字を辞書で確認しますと、「身についているおまけの技能、専門以外の技能」とあります。専門分野ですら？？であり、いわんや専門以外で人様にお話しできる技能は持ち合わせていません。少し自慢することといえば若い頃に、北は大雪山から西は大山迄、全国の多くのスキー場に行ったことくらいです。そういう訳で余技ではなく、自身の履歴書の類で書かせていただきます。「こういう時代も、風景もあったんだ」と思っ頂き、少しお時間をいただければ幸いです。

私が生まれた家は、京都伏見の大手筋(西大手町)に面しており、表は通りを挟んで京都府立医大伏見分院、裏は大倉酒造(月桂冠)でした。夫々大きな土地なのですが、当時はとてつもなく広大な敷地に見えていました。大阪市内の小学校に入学的るまでは、祖父母と伏見で暮らしており、中書島駅近くの南浜幼稚園に通っていました。通園時には坂本竜馬が襲撃された寺田屋の前を通っていました。駅近くには朱色に彩られた建物があり不思議に思っていました。もとの遊郭だったのでしょうか。

小学校は淀屋橋にあった愛日小学校で、阪神の岡田監督が同窓です。当時、北御堂は石垣があったと思いますが、その上は平地でキックボールなどを遊んでいました。その後

中学高校を卒業して北海道大学に進学。北海道に決めた特段の理由があったのか、なかったのかはつきりしないのですが、(今からでは考えられないことなのですが)当時は訳もなく大阪京都にいたことが嫌で、知っている人が誰もいない遠いところへ行きたいと思っておりました。

く説明出来ないのですが、ある種の閉塞感に苛まれていた時代だったのでしょう。

大学時代、十月十日(当時体育の日)夜に札幌すすきのに友人と飲みに出かけた帰り道で激しい雪にビツクリ。十月末に車で層雲峡に出かけたおり大雪となり国道からスリップ転落。こうして振り返りますと改めて地球の温暖化が進んでいることに驚かされます。

社」に選ばれ当時の茂木大臣から表彰していただきました。

このように書いてきますと一見順風満帆に過ごしてきたかの様に見えますが、実際には、苦難の連続でした。大学進学は、高校が同志社大学の付属校であったため、受検指導は全くありませんでしたし、今のような共通試験もなければ、偏差値などもありませんでしたので、大学に合格するの可否かも不透明でした。

させられました。日本は一部の企業は世界トップレベルだが、それ以外特にアパレル分野では途上国レベルとの指摘でした。この出来事がきっかけとなり、その後当社R&Dが大きく前進、「創意工夫」活動の原点からの出発となりました。

振り返りますと、その時々の方のご指導、ご協力により何とか諸問題を乗り越えて来ることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。ところが、近年の円安為替問題、人件費他の高騰から、新たな困難に直面している今日この頃です。なかなか楽をさせてもらえません。とりとめのないお話にお付き合い頂き有難うございました。



続・257

丸二倉庫株式会社 代表取締役社長

湯川 康史



組を見てにわかに北海道に行きたくなりました。

当時は学生運動が盛んな時期であり、小説も芥川賞受賞の柴田翔「されどわれらが日々」が学生の間ではバイブル的な存在になり、音楽の世界では反戦などのフォークソングが一世風靡した時代でした。日本の若者の多くが、何がということは上手

大学卒業後は、東レ(株)に入社、PETフィルム「ルミラー」関係の管理と営業を担当。当時「ルミラー」は、磁気テープ、コンデンサ用フィルムの世界のトップ材料であり、東レの収益の柱でした。約十年勤務後家業の丸二倉庫(株)を兄と共に継ぎました。おかげさまで当社は、二〇一四年に経済産業省の「がんばる中小企業三百

Max Mara Italy(婦人服メーカー)来社時の指摘でした。同社ロゴ責任者から、当社(日本)は遅れており且つ創意工夫が少ないことの指摘があり、イタリア本社に勉強に来るように言われました。イタリアに出かけますと、既に高速道路には当時見たこともなかったATMが導入されており、日本のレベルの後進性を再認識

また、当社入社後に驚いたことは、ほとんど儲からない会社である実態を知り驚きました。ナントカ一人前の企業にしなければ、色々な施策を考えて実行してきました。当社にとって一番衝撃的な出来事は一九九〇年代の事です。Max



支笏湖畔にあった大学の山の家の前で撮ったゼミ生の写真
筆者 前列右から三人目